



第7回電磁界情報センター運営 委員会でのご意見への対応(案)

電磁界情報センター

2011.6.24 第8回運営委員会

	前回いただいたご意見(概要)	対処方針(案)
1	<p>職員の専門性向上について</p> <ul style="list-style-type: none"> センター職員と研究者との定期的でオープンな勉強会を行っては。 国立がんセンターのマスコミセミナーや食品安全委員会のメディアパトロールを勉強してはどうか。 	<p>専門家ネットワークや臨床医などとの勉強会を計画する。また、さまざまな分野でのリスコミ事例調査を実施し、よりよいリスコミ方法を研究していく。</p>
2	<p>社会部記者にとってリスクとは「住民たちが不安に思っていること」である。これでは心配ごと全てがリスク。是正していく必要がある。</p>	<p>マスコミからの取材依頼には積極的に対応する(本年度、既にテレビ3件、新聞2件、その他2件対応済み)。マスコミ向け説明会を随時開催する。</p>
3	<p>電磁過敏症などの問い合わせや相談対応として、保健師など医療の専門家との連係を考えるべきではないか。センター職員が多くの時間と労力を割くのは本来的ではない。</p>	<p>本年度の活動計画に「電磁過敏症問い合わせ対応方法の検討」を組み入れる。専門家のアドバイスを得ながら、センター職員の対応範囲などを検討する。</p>
4	<p>出向職員の知識やノウハウの保存など、組織として検討する必要がある。</p>	<p>この3年間の問い合わせ事例をシステムする。また、引継資料の充実を図るとともに、即戦力化の新任研修を実施する。</p>